



# お仏壇の飾り方

保存版

しん しゅう おお たに は

# 真宗大谷派


## 入門 真宗大谷派

浄土真宗を開いたのは親鸞といって法然のお弟子さんだった方なのだよ



浄土真宗を開くまで、親鸞は越後から関東地方の各地を回って法然の教えを広げていました。親鸞が越後に行ったのは、法然の流罪にともなって、越後に流されたからです。そして、この布教の間に法然の教えをおすすめ、親鸞自身の考えを確立したのです。

親鸞の教えは自分の修行や知識ではなくただ仏の力に頼ることだけが救われる道である。だから、念仏を称えることではなく阿彌陀仏を信じさえすればどんなに罪深い人でも救われるということなのだよ



そしてまた善行の底にひそむ打算と名譽欲にかられている人は阿彌陀如来の救いからは遠いとも説いているのだね

それじゃあ悪いことをしたほうがいいのですか？



いや、いや、そういうことではないのだよ

自分の力で救われるなどと思つてはいけません。阿彌陀さまにすべてをまかせなさい、とおっしゃっているのだよ



これから説明するお仏壇の正しい飾り方の前にまず、開祖と教義についてお話ししましょう。



### 宗 紋



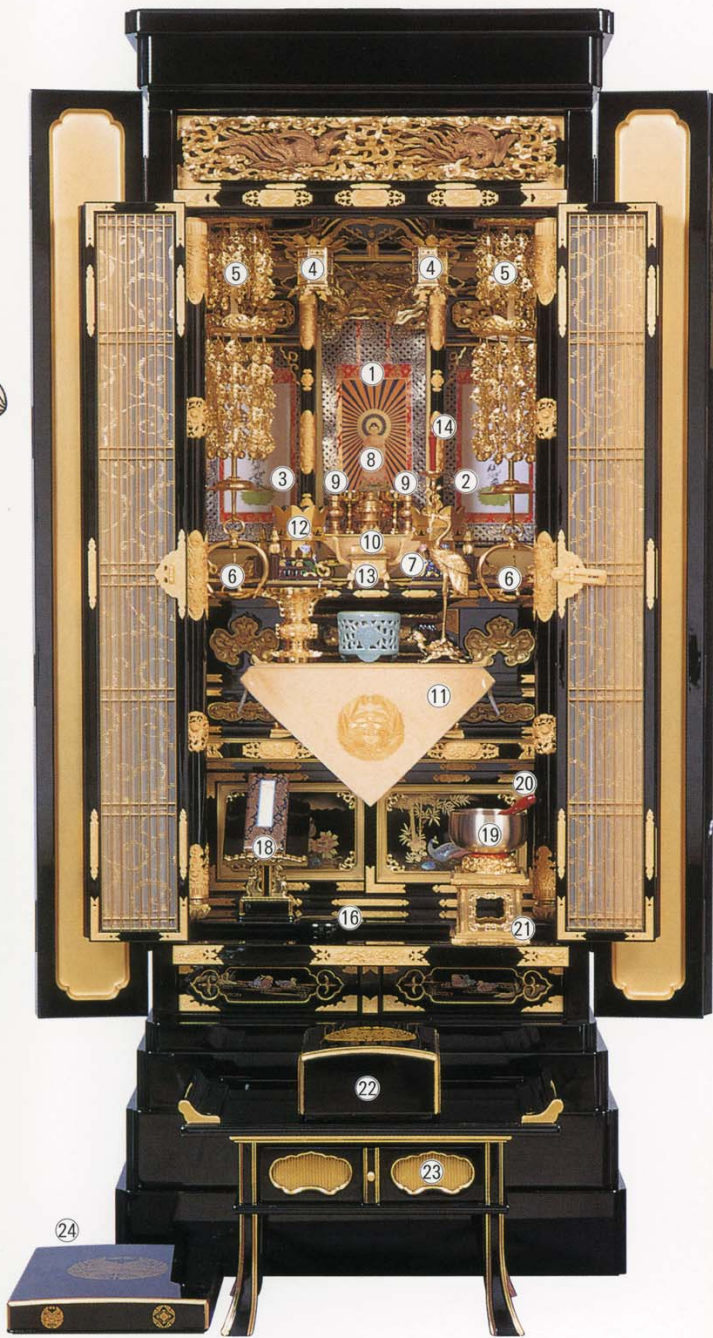
八つ藤紋



抱き牡丹紋

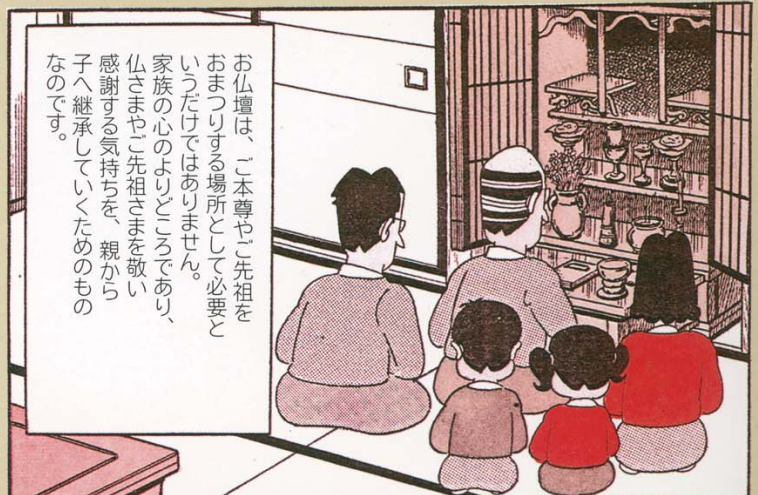
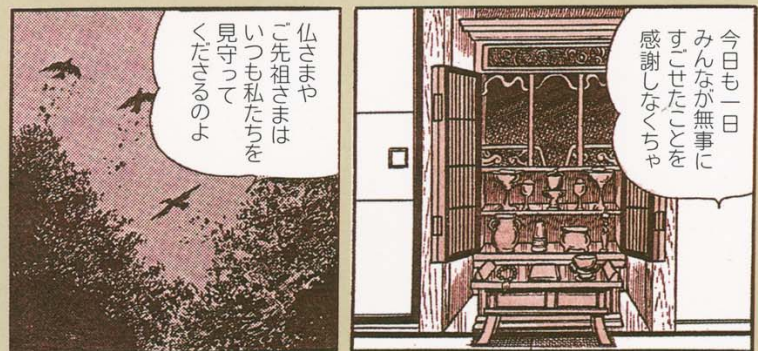
- ◆開祖  
見真大師 親鸞聖人 (1173~1262)
- ◆称名  
南無阿彌陀仏 (なむあみだぶつ)
- ◆本山  
本願寺 (東本願寺)  
京都市下京区烏丸通り七条上る
- ◆教義  
阿彌陀如来の本願を信じ、ただひたすらに念仏し浄土に往生する絶対他力の教え。
- ◆経典  
無量寿経・観無量寿経・阿彌陀経
- ◆日常のおつとめ  
名号と正信偈、念仏和讃、回向、御文

# 仏具の正しいかざりかた（お荘厳）です。



## お仏壇は家族の心のよりどころ

お仏壇のある暮らし - 吉田家の場合



上卓と前卓



法名軸の位置



蓮軸と花瓶の位置(正面)



あなたのお家のお内仏は  
正しい飾り方が  
なされていますか  
右の写真と  
照らし合せて  
正しい飾り方を心がけましょう。



- ①ご本尊(ごほんぞん)  
真宗のご本尊は阿弥陀如来です。
  - ②お脇掛(おわきがけ)  
ご本尊に向かって右側に十字名号「帰命尽十方無碍光如来」か、親鸞聖人のご影像をおかけします。
  - ③お脇掛(おわきがけ)  
ご本尊に向かって左側に九字名号「南無不可思議光如来」か、蓮如上人のご影像をおかけします。
  - ④金灯籠(きんとろうこ)  
お宮殿の両側に一対つるし、ご本尊のお姿を明るく照らすために用います。
  - ⑤瓔珞(ようらく)  
重い法要の時に用います。
  - ⑥輪灯(りんとう)  
朝夕のおつとめの時点灯します。
  - ⑦上卓(うわじょく)  
ご本尊の前、須弥壇の上に置く卓です。仏器・華瓶・火舎香炉を置きます。
  - ⑧仏器(ぶつき)  
お仏飯を盛る器をいいます。朝のおつとめの前にお供えし、正午にはお下げいたします。
- \*十字・九字名号のお脇掛にはお仏飯はいりませんが、ご影像(親鸞聖人・蓮如上人)にはお仏飯が必要です。

- ⑨華瓶(けびょう)  
浄水を入れる器で上卓の上に対置します。華瓶には水を入れ櫛をさします。  
\*華瓶以外の器(コップや湯のみ茶わん)に水やお茶を入れてお供えすることはいたしません。
- ⑩火舎香炉(かしやくろう)  
上卓の中央に置く香炉で、焼香のために用います。向きは足の一本が正面になります。
- ⑪打敷(うちしき)  
前卓と上卓におかけする三角の織物で、お正月・お盆・お彼岸・報恩講・年忌法要などの重い法要の時のみ用います。
- ⑫供苜(くげ)  
お華束(小餅)をのせるもので、普段は用いず、重い法要の時のみ用います。
- ⑬三具足(みつぐそく)  
鶴亀燭台・花瓶・香炉のことを三具足と呼び、原則としてお内仏(お仏壇)の中で使用するものです。
- イ 鶴亀燭台(つるかめじょくだい)  
亀の尾の先が手前に向くようにおき、蓮軸は実が正面になるようにします。
- ロ 花瓶(かひん)  
花器、花だてで八藤紋を内側に向けておきます。ご本尊がかくれぬように立てます。生花を用いた造花は使用いたしません。
- ハ 土香炉(どこうろ)  
陶器の香炉です。向きは足の一本が正面になります。線香を香炉の大きさに応じて数本折り、火の付いた方を左に向け灰の上に横にしておきます。
- \*線香をたてて使用することはいたしません。
- ⑭木蛾(もくろう)  
平素鶴亀燭台に立てる木製(朱塗り)のローソクです。

- ⑮前卓(まえじょく)  
須弥壇の前に置く卓です。三具足(鶴亀燭台・香炉・花瓶)を置きます。
- ⑯香盒(こうごう)  
お香を入れる入れ物です。
- ⑰法名軸(ほうみょうじく)  
法名軸はお内仏(お仏壇)の左右側面におかけします。
- \*真宗では正式には法名軸を用い、位牌を使用することはいたしません。
- ⑱見台・過去帳(けんたい・かこちょう)  
過去帳には亡くなられた方の法名・亡くなった年月日を記します。
- ⑲鈴(りん)  
おつとめをする時に用いる「かね」を鈴といいます。おつとめをする時以外は一切打ちません。
- ⑳撥(ばち)  
鈴を打つ棒で、おつとめの時以外は鈴の中に正面を向けておきます。
- ㉑鈴台(りんたい)  
鈴を置く台を鈴台といい、大谷派では四角形の鈴台を用い金襴輪(ふとんではなく)の上に鈴を置きます。
- ㉒和讃箱(わさんぼく)  
おつとめに使う「正信偈」と「三帖和讃」を入れておく箱です。
- ㉓和讃卓(わさんじょく)  
和讃箱をのせる卓です。
- ㉔御文箱(おふみばこ)  
御文を入れておく箱です。

お仏壇の飾り方は、お仏壇の形式・サイズ・お仏具の種類及び地方の習慣により異なる事があります。必ず当店にお問合せ下さい。

# これだけは知っておきたい 真宗大谷派のQ&A

日常礼拝の  
しかたを  
教えて下さい。



## ①朝起きたら

お仏壇を掃除し、  
お灯明をともし線  
香や仏飯をお供え  
します。線香は立  
てずに、香炉の大  
きさに応じて一本  
を数本に折って横  
にして供えます。



※リンを叩くのは、おつとめ（勤行）のときの  
みです。お仏壇にお線香をあげて合掌礼拝す  
るだけのときは、リンを鳴らさないようにし  
ます。

## ②合掌・礼拝

姿勢を正して合掌  
礼拝します。  
「南無阿弥陀仏」  
の念仏を、数回、  
称えます。



## ③就寝前に

寝る前にも合掌礼  
拝し、火元を確認  
して扉を閉じます。



お数珠とその  
かけ方について  
教えて下さい。

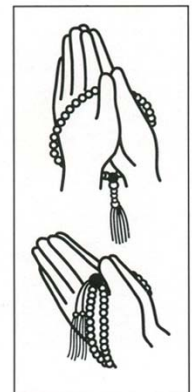


念珠は大切な法具ですから、家族ひとりひとり  
が、かならず持ちましょう。  
自分にふさわしい、あまり粗末でない品をえら  
ぶことが大切です。

## ●真宗大谷派の念珠



## ●かけ方



念珠は、念珠をくったり、もみ合わせたり  
しません。

年中行事は  
どんなものが  
ありますか



## ●修正会 （お正月）

元旦から三日までの三ヶ日を修正会  
といい、元旦には仏恩報謝の思いを  
もってお勤めします。

## ●彼岸会

春秋の中日を中心とした前後三日の  
各一週間、仏法聴聞に励みます。

## ●親鸞聖人御誕生会法要（四月一日）

七月または八月十三日から十六日ま  
で、父母や先祖を追慕し、亡き人々  
のご恩に感謝します。

## ●報恩講

親鸞聖人のご恩を感謝する、宗門の  
行事の中でも、最も大切な法要です。

## ●歳末勤行

一年間、無事に過ごさせていただ  
いたことに感謝し、大晦日の夕刻にお  
勤めします。

◆全国優良仏壇専門店会加盟店◆

〈仏壇、仏具、神具、寺院用具、墓石〉



創業百余年

# 佛壇の谷

本店 秋田市大町一丁目4-37  
（仏壇・寺院用具）電話 018(824)3181  
石材部 秋田市寺内蛭根三丁目23-11  
（墓石展示場）電話 018(863)8284